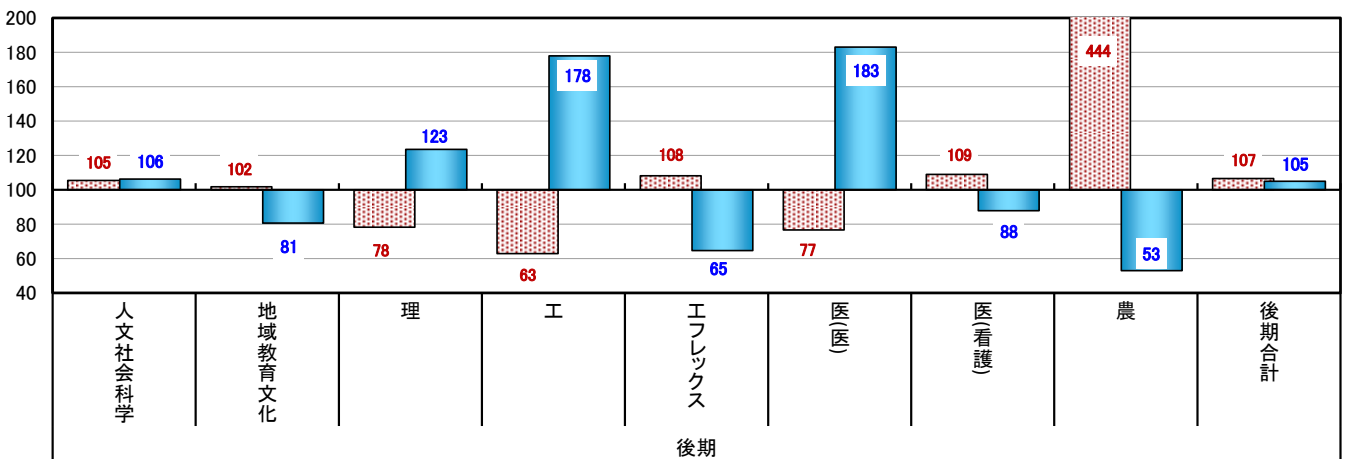
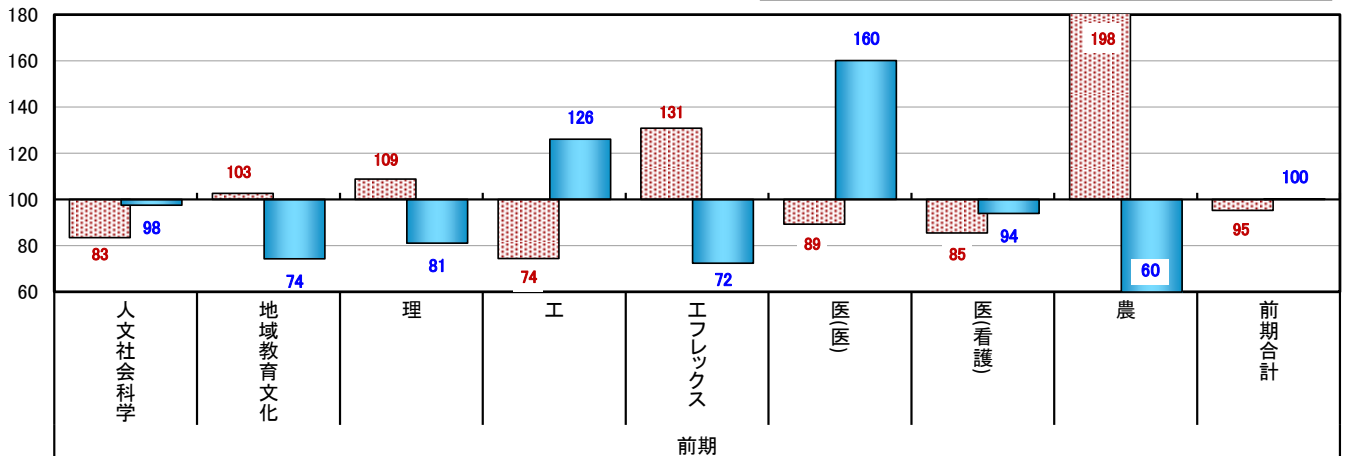


山形大：前期は5年連続減少の反動はなく微増、後期は2年連続増加 前期：+5人 後期：+72人

※前年度の志願者数を100とする指数

■2021年度/2020年度 ■2022年度/2021年度



主な入試変更点

選抜方法：理<前>…共通テスト及び個別試験の成績の合計の高得点順に合格とする
 →個別試験において同一の科目を受験した全受験者のうち、個別試験の成績順上位5%以内の者、又は個別の得点率が90%以上の者を合格とする。その後、他の受験者については共通テスト及び個別試験の成績の合計の高得点順に合格とする

募集人員：人文社会科学(人文社会科学/人間文化)…<前>53人→55人、<後>7人→10人
 個別試験：地域教育文化(地域教育文化/児童教育)<前>…外+論→外+総合問題
 <後>…論→総合問題

理<前>…数 or 理 ※理：物 or 化 or 生 or 地学
 →数 or 理 or 総合問題 ※理：物 or 化 or 生 ※総合問題は地球科学に関する問題

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は5人(100)の微増に留まり、5年連続減少の反動はなかった。エフレックス(72)を除くと(102)の微増。後期は72人(105)の2年連続やや増加。エフレックス(65)を除くと(108)の増加。

<前期日程>

- 人文社会科学(98)は、微減で3年連続減少。学科・コース別では、いずれも減少で、(人文社会科学/グローバル・スタディーズ)(93)はやや減少で2年連続減少、(人文社会科学/総合法律・地域公共政策・「経済・マネジメント」)(98)、(人文社会科学/人間文化)(99)はいずれも微減。
- 地域教育文化(74)は、大幅減少。学科別・コース別では、いずれも減少で、(地域教育文化/文化創生)(69)は前年度増加の反動で大幅減少、(地域教育文化/児童教育)(80)も大幅減少で3年連続減少。
- 理(81)は、前年度増加の反動で大幅減少。2017年度の改組後初めて志願者数が300人を下回った。
- 工(126)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科・コース別では、(化学・バイオ工/バイオ化学工学)(234)、(高分子・有機材料工)(179)、(化学・バイオ工/応用化学・化学工学)(159)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(建築・デザイン)(44)は前年度2.5倍以上の反動で減少率50%以上の大幅減少、(情報・エレクトロニクス/電気・電子通信)(74)は2年連続大幅減少。
- 医(医)(160)は、5年連続減少の反動で激増。志願倍率は3.3倍→5.3倍にアップ。
- 医(看護)(94)は、やや減少で3年連続減少。
- 農(60)は、前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少。

<後期日程>

- 人文社会科学(106)は、2年連続やや増加。学科・コース別では、いずれも増加で、(人文社会科学/総合法律・地域公共政策・「経済・マネジメント」)(107)はやや増加で2年連続増加、(人文社会科学/人間文化)(105)は募集人員増加(前年度募集

- 人員対比指数 143) もありやや増加で 2017 年度の改組後初めての増加。ただし、志願倍率は 11.3 倍→8.3 倍にダウンし、競争は緩和。
- 地域教育文化(81)は、大幅減少。学科・コース別では、(地域教育文化／文化創生)(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(地域教育文化／児童教育)(88)は減少で 3 年連続減少。
 - 理(123)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 工(178)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2017 年度の改組以降は大幅増減が継続。学科・コース別では、いずれも大幅増加で、(情報・エレクトロニクス／情報・知能)(235)、(情報・エレクトロニクス／電気・電子通信)(193)、(化学・バイオ工／バイオ化学工学)(183)、(機械システム工)(179)はいずれも前年度大幅減少の反動で激増、(建築・デザイン)(213)は 2 年連続大幅減少の反動で倍増以上、(化学・バイオ工／応用化学・化学工学)(139)は 2 年連続大幅増加。
 - 医(医)(183)は、2 年連続減少の反動で激増。志願倍率は 9.8 倍→17.9 倍にアップ。
 - 医(看護)(88)は、3 年連続増加の反動で減少。
 - 農(53)は、前年度 4 倍増以上の反動でほぼ半減。志願倍率も 13.8 倍→7.3 倍にダウン。